

駐名古屋大韓民国総領事館 金星秀 総領事に聞く

日韓国交正常化60周年の今年、名古屋をはじめ各地で様々な行事、イベントが行われ、日韓の友好の輪は大きく広がった。その中心的な役割を果たしたのが駐名古屋大韓民国総領事館の金星秀（キム・ソンス）総領事。李在明（イ・ジェミョン）大統領が8月、就任後初の海外訪問で日本へ。石破茂首相との首脳によるシャトル外交が再開され、両国関係は発展の確かな道筋がつけられたように見える。着任以来3年、地域の経済・文化交流に奔走してきた金総領事に日韓交流の現状と将来展望を聞いた。



国交正常化60周年、韓日経済・安保協力強化と共に文化・国民交流のトレンドも深化

—日韓国交正常化60周年の成果をどう見ていますか。

金星秀総領事 両国政府が記念すべき年に未来志向の関係を築いていこうと「両手を携えてより良い未来へ」というキャッチフレーズを示してきました。総領事館としても管轄するこの中部、東海地域で年初から様々な企画をしながらイベントなどを多彩に繰り広げてきて、現在も実施中です。国民、企業間の交流も順調に前進することができました。総領事館主催の行事でも人的交流による友好関係の進展は確認できたことですが、昨年の訪日韓国人数は882万人で過去最高、日本からの訪韓者は322万人という統計数字からも進化は間違いないと思っています。経済協力の面でも、中部地域は日本のものづくりの中核圏域ですが、展示会で韓国企業が占める割合も高くなり、友好関係の流れが深まるトレンドが確認できて、うれしく思っています。

—11月22日、23日に韓日フェスティバル2025が名古屋エディオン久屋広場で開催されます。概要を教えてください。

金総領事 両国の草の根交流として2018年に始まり、2020年、21年のコロナ禍の期間を除いて今回が6回目、私が総領事着任以降は3回続いています。国際的な大規模イベントに成長してきたと思います。日本で最もモデル的なフェスティバルと言えるのではないのでしょうか。今年は国交正常化60周年でもあり、単な

る韓国の文化だけではなく、最近のトレンドを紹介し、両国の大衆文化、例えば食べ物が一緒に体験でき、韓国からアイドルも呼んで来て参加、皆さんを楽しませてくれるはずです。また、今回は韓国の多くの自治体に参加するよう企画しています。瀬戸市の姉妹都市で、韓国北西部の利川（イチョン）市も参加予定です。ここは古くから陶磁器の街として知られ、2006年から陶磁器文化の中心地である瀬戸市と交流を続けています。利川市からは伝統的な仮面を付けた舞踊が披露されます。韓国人の民族性を豊かに表現しており、盛り上がる舞踊になると思います。韓国人の積極的な国民性を感じることができるとでしょう。名古屋の皆さんもぜひフェスティバル会場に来て、韓国の食を味わい、様々な企画を見聞きして韓国文化に触れて楽しんでください。

—李在明大統領は8月に訪日、石破首相と互恵の共通利益のための協力を確認しました。9月には石破首相が韓国釜山を訪問。外交成果をどうみますか。

金総領事 1965年の日韓基本条約に基づいて両国の良い関係が築かれてきましたが、歴史問題などで交流が止まったり、後退したりしました。90年代にぎくしゃくした時期もありましたが、両国政府が98年にパートナーシップ共同宣言を行い、以来シャトル外交によりお互いの首脳同士が意見交換し懸案事項を解決していこうという機運が生まれました。